

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

 その他有価証券

 時価のあるもの

 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は正味財産増減額として処理）を採用している。

 また会計処理は洗替処理でなく切放処理としている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	43,874,550			43,874,550
投資有価証券	920,256,000		23,268,000	896,988,000
小 計	964,130,550	-	23,268,000	940,862,550
特定資産				
貸与貸付金	32,857,000		3,621,000	29,236,000
奨学事業積立資金	122,434,975	1,556,564		123,991,539
小 計	155,291,975	1,556,564	3,621,000	153,227,539
合 計	1,119,422,525	1,556,564	26,889,000	1,094,090,089

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	43,874,550	(43,874,550)		
投資有価証券	896,988,000	(896,988,000)		
小 計	940,862,550	(940,862,550)		
特定資産				
貸与貸付金	29,236,000	(29,236,000)		
奨学事業積立資金	123,991,539	(123,991,539)		
小 計	153,227,539	(153,227,539)		
合 計	1,094,090,089	(1,094,090,089)		

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
用途の制約の解除による振替額	19,553,194
合 計	19,553,194